



学校だより

第189号
令和元年10月2日
北区立桐ヶ丘郷小学校
校長 朝倉 靖雄

ラグビーワールドカップから学ぶ

校長 朝倉 靖雄

9月20日～11月2日の2ヶ月以上に渡って、札幌から熊本等の全国12会場で世界の強豪20カ国が参加したラグビーワールドカップが開催されています。「4年に一度じゃなく・・・一生に一度だ」という宣伝文句が電車の広告に掲載されていましたが、全くその通りだと思います。この機会に40万人もの外国の方々が日本にやってくるそうです。

ラグビーはその精神も含めて、極めて教育的で今日的な競技・スポーツだと改めて実感します。なぜならば、ラグビー憲章というものがあり、その中に5つの基本原則が明示されていて厳格に守り続けられているからです。品位 (INTEGRITY) 規律 (DISCIPLINE) 結束 (SOLIDARITY) 尊重 (RESPECT) 情熱 (PASSION) の5つです。

レフリーをはじめ選手は品位を保って試合をする。体と体がぶつかり合う激しい競技なので両者は規律をもって反則はしない。何よりも FOR THE TEAM で結束する。そして試合が終わったら陣営を分け隔てていたサイドを無くす NO SIDE の精神で、勝ち負けを超えて互いを尊重し合う。

また31名の日本代表選手の構成は、出生を外国にもつ選手が16名で日本人の15名より多いのです。これは一部では批判がありますが、これからの日本社会がもたなければならないダイバシティ（多様性）を体現するものだとも思います。

さらにニュージーランドの一部、サモア、トンガ、フィジー等の太平洋諸島の文化圏の選手たちは、自らのアイデンティティーとして「タトゥー（刺青）」をしています。公共施設を利用するときには率先して長袖等を着用して自発的に、日本では文化的には否定的なタトゥーを隠したそうです。そしてニュージーランド代表のアロン スミス選手はインタビューで「僕らは日本にいるんだから、日本のやり方や文化を敬い、受け入れなければならないんだ。」と言ったそうです。

ラグビー憲章の5つの原則は、教育に携わる者として肝に銘じるとともに、子どもたちにも伝えていきたい精神だと改めてこの機会に感じています。

10月行事予定

日	曜日	行事
1	火	都民の日
2	水	安全指導 自主登校開始 1-2、2-1、4-2以外はA4
3	木	B6
4	金	歯科検診（全学年） A5
5	土	土曜授業（公開なし、鑑賞教室）B4
6	日	北区民まつり
7	月	全校朝会 縦割り遊び クラブ
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	終業式 児童集会
12	土	秋季休業日始
13	日	
14	月	体育の日 秋季休業日終
15	火	始業式 激励集会 6年事前健診
16	水	6年連陸記録会
17	木	避難訓練（防犯教室）
18	金	体育朝会 6年連陸予備日
19	土	
20	日	
21	月	全校朝会 5-2以外A4（校内研究会）
22	火	祝日
23	水	B5
24	木	1・2年生活科見学
25	金	音楽朝会
26	土	
27	日	
28	月	全校朝会（連陸報告会） 委員会
29	火	4組事前健診
30	水	4組宿泊学習始（11/1まで）
31	木	

☆岩井自然体験教室☆

5年生は9月4日から3泊4日、岩井自然体験教室に行ってきました。長い期間ではありましたが、子どもたちは協力して実りある生活を送ることができました。初日の飯ごう炊さんでは協力と役割を果たすことの大切さを学びました。できあがったカレーを楽しく、美味しく食べていました。2日目のマザー牧場ではたくさんの動物に触れたり、子豚のレースで金メダルをもらったりし、大いに楽しみました。3日目の砂山遊びでは高い砂山を一生懸命登り、何度も転びながらも楽しく砂滑りをしました。大房岬の磯遊びではシーグラスを拾ったりカニや魚を捕まえたりしました。事前の学習をしていたこともあり、プラスチックゴミや風に興味をもって調べている子もいました。自然体験教室を通して規則正しい生活をし、自分のことをしっかり自分でやる力を身に付けた5年生のこれからが楽しみです。



☆全校写生会 感想☆ ~4組より~

9月26日(木)は全校写生会でした。1年生はぬいぐるみ、2年生はザリガニ、3年生は一輪車、4年生は楽器(タンバリン、大太鼓、トランペットを選んでいました)、5年生は赤羽自然観察公園の風景、6年生は靴が題材で、4組も自分の学年の題材を写生しました。低学年は、画用紙いっぱい大きく描くこと、高学年は、細かなところまでよく見て描くことを目標に楽しく取り組みました。

